みずほCustomer Desk Report 2016/06/08 号(As of 2016/06/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	107.39 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.45	1.1364	122.09	0.9703	1.4461	0.7372
SYD-NY High	107.90	1.1381	122.70	0.9713	1.4664	0.7465
SYD-NY Low	107.16	1.1339	121.66	0.9645	1.4433	0.7361
NY 5:00 PM	107.37	1.1356	121.96	0.9651	1.4545	0.7460
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			11.25/11.825	Δ25RR	1.135	Yen Call Over

NY DOW	17,938.28	17.95	債券市場	日本2年債	-0.2390	-
NASDAQ	4,961.75	▲ 6.96		日本10年債	-0.1180	▲0.8bp
S&P	2,112.13	2.72		米国2年債	0.7833	▲1.2bp
日経平均	16,675.45	95.42		米国5年債	1.2322	▲1.8bp
TOPIX	1,340.77	8.34		米国10年債	1.7177	▲1.9bp
ｼｶｺﾞ日経先物	16,750	45.00		独10年債	0.0500	▲3.6bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	6,284.53	11.13		英10年債	1.2670	▲1.3bp
DAX	10,287.68	166.60		豪10年債	2.1940	3.7bp
ハンセン指数	21,328.24	298.02	為替市況	USD/CNH	6.5731	0.0117
上海総合	2,936.05	1.95		ドルインデックス	93.85	▲0.06
USDJPY 3M Vol	10.69	▲0.19%	商品市況	CRB指数	192.427	1.16
USDJPY 6M Vol	10.64	▲0.16%		NY金	1,247.000	▲0.40
EURJPY 3M Vol	11.24	▲0.11%		WTI	50.360	0.67
EURJPY 6M Vol	11.13	▲0.08%		Dubai Spot	46.36	0.42

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は107.45ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。小幅高寄りした日経平均株価が上げ幅を縮小する中、東京時間安値107.23まで下落。その後、麻生財務大臣が記者会見で今週106円台まで進行したﾄﾞﾙ円相場についてｺﾒﾝﾄを控えたことが伝わったものの、相場への影響は限定的。午後にかけて、一部では先週末米5月雇用統計後のｼｮｰﾄｶﾊﾞｰや実需勢の買いも意識される中、107.89の東京時間高値まで上昇。但し、上値は重くﾄﾞﾙ円はその後107円台後半でもみ合い推移。結局ﾄﾞﾙ円は107.66ﾚﾍﾞﾙで海外に渡った。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ時間のﾄﾞﾙ円は横ばい。107.66ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ後、目立った材料がなかったため、同水準で推移。一旦は107.90と日中高値まで上昇したものの、一段の上値追いとはならなかった。結局、ﾄﾞﾙ円は107.72ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは小幅下落。1.1359ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ後、原油価格が今年の高値を更新し、DAXなどの欧州株が堅調な動きとなったことにｻﾎﾟｰﾄされ、一時1.1381まで上昇。しかし、次第に英株が上昇幅を縮小し、独10年債金利が低下すると、ﾕｰﾛﾄﾞﾙも売り優勢となり、1.1339まで下落。結局1.1347ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179)

ニューヨーク

ﾄﾞﾙ円は107.72ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、米第1四半期単位労働費用(確報)が予想を上回り、ややﾄﾞﾙ円が強含む局面もあったものの、ｸﾛｽ円が下落する展開にﾄﾞﾙ円も107.16まで反落する。午後は107.30付近での推移が続き、107.37ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.1347ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、1.1367まで上昇する局面もあったものの、ﾕｰﾛ円がﾎﾟｼﾞｼｮﾝ調整とみられる売りに下押しされるとﾕｰﾛﾄﾞﾙも連れて1.1341まで反落する。その後は1.1350を挟んだ方向感の無い推移が続き、1.1356ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:山本・坂本

【昨日の指標等】

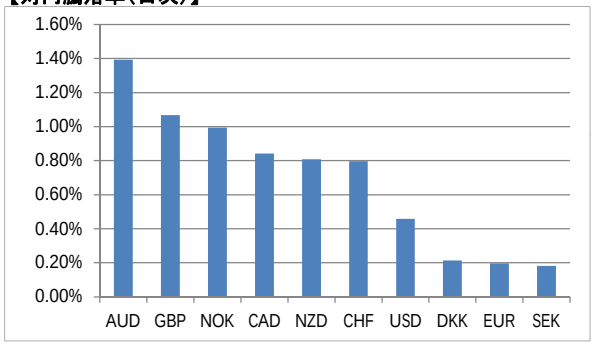
Date	Time		Event		結果	予想
6月7日	13:30	豪	RBAキャッシュレート	-	1.75%	1.75%
	14:00	日	景気先行CI指数(速報)	4月	100.5	100.7
	14:00	日	景気一致指数(速報)	4月	112.2	112.7
	15:00	独	鉱工業生産(季調済、前月比/前年比)	4月	0.8%/1.2%	0.7%/1.0%
	18:00	欧	GDP(季調済・確報、前月比/前年比)	1Q	0.6%/1.7%	0.5%/1.5%
	21:30	米	単位労働費用(確報)	1Q	4.5%	4.0%

【本日の予定】

Date			Event		予想	前回
6月8日	8:50	日	国際収支:経常収支	4月	¥2303.0B	¥2980.4B
	8:50	日	GDP(季調済・確報、前期比/前期比年率)	1Q	0.5%/1.9%	0.4%/1.7%
	8:50	日	GDPデフレーター(確報、前年比)	1Q	0.9%	0.9%
	17:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	4月	0.0%/-0.4%	0.3%/-0.2%
	17:30	英	製造業生産(前月比/前年比)	4月	-0.1%/-1.5%	0.1%/-1.9%
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	-	-4.1%

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00-108.00	1.1300-1.1400	121.00-122.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は、軟調推移。欧州時間序盤、原油先物相場が上昇、欧州株や日経平均先物も堅調推移したことからドル円は買いが先行し、一時107.90円まで上昇。しかしながら、株価が伸び悩み、米債利回りが低下する動きに、ドル円も反転し、東京時間安値の107.23円を割り107.16まで下落。もっとも米債利回り低下が一服するとドル円も下げ渋ったものの上値は重く107.37レベルでクローズした。本日のドル/円相場は、上値の重い展開を予想する。昨日未明のイエレンFRB議長の講演は米利上げに関して新たな手掛かり材料とはならず、改めて、極めて低調な結果となった5月米雇用統計の結果を受けたドルの弱さが意識されよう。足元、市場参加者の米早期利上げへの思惑が剥落するなか、米10年債利回りは年初来レンジの下限まで低下しており、ドルは主要通貨に対し弱い地合が継続するものと見込まれ、ドル円についても107円台前半で上値重く推移するものと予想する。